

ACTION INNOVATION PROGRAM

西大和学園発アントレプレナーシップ教育プログラムについて

富高雄介／西大和学園中学校・高等学校 アントレプレナーシップ教育推進部主任

75

Why **E**ntrepreneurship?

なぜ進学校でアントレなのか

OR ではなく AND

「探究 VS 学力」という対立構造を壊す

●成績向上を「プロジェクトマネジメント」化する

タスク・スケジュール・リソースの管理による労働生産性向上

●「授業」という概念の再定義

学習に対するモチベーションを最大化し、「自走のきっかけ」とアップデート

私たちが大切にしている考え

●CONCEPT

自分で自分の人生を切り拓く力の育成を

●PASSION

思想家ではなく体現者を

会社をつくるのではなく社会をつくる人財を

人生のブランディングを、高付加価値人財へ

内に秘める「志」の具現化

「教える教育」から「自走を支える環境整備」へ

黎明期（2020-2021） ビジネス探究・実績

- SGH（Super Global High School）の延長としてスタート
- 「ビジネスコンテスト受賞」が主目的
- アイディア先行で、実践（プロトタイピング）は少数

転換・拡大期（2022-2024） 具現化・社会実装

- コンテスト路線を放棄、「具現化」へ舵を切る
- 年間30名超の外部講師・1on1メンタリング体制確立
- PBL（課題解決型学習）とマイプロジェクトの2軸で実践事例が続出

自律・革新期（2025-） 自走・エコシステム

- SSP（探究ファンド）設立により資金調達を加速
- DXツールによる非認知能力の可視化
- 生徒主体ゼミ・法人設立など「教育から環境」へ昇華

AIPの概要

I. マインド & スキルセット

「志」の言語化と武器の習得

マインド：自己理解の徹底、社会課題の自分ごと化

スキル：デザイン思考、エフェクチュエーション、
AI活用、財務・マーケティング など

II. 企業・自治体連携PBL

組織の一員として「社会」を体感する

実践：商品開発、地方創生（王寺町・河合町）

有償インターン など

学び：組織内の役割、事業プロセスの理解

理論と実践

「往還」

IV. 校内ピッチ & 内省

第一線の視点による客観的評価

場：AcademiQ Summit

学内探究ファンド（SSP）審査ピッチ など

フィードバック：起業家等による「本気の壁打ち」

III. プロジェクト型探究

「やってみたい」をカタチにする

アクション：商品・サービス開発、イベント運営

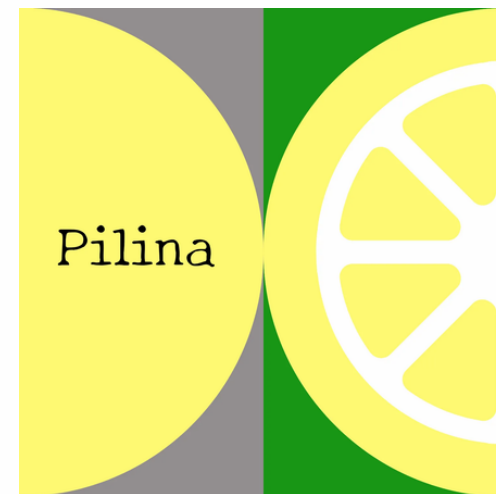
CFでの資金調達から法人設立まで

環境：毎週の徹底した1on1メンタリング

マイプロジェクト抜粋

NPO法人おおさかレモネードスタンド プロジェクト Pilina

病気や障がいの有無を問わず、みんなが輝ける優しさが循環する世界に
小児がん支援、きょうだい児
ライオンズフェスタ2025特別賞



左利き用の筆を作りたい！ 「ふで左工門」

意匠登録1802044
幾度にわたるプロトタイピング
左利きの方や身体障がい者の方に
書道を楽しむ原体験を提供



ルワンダ🇷🇼のコーヒー農家さんに 資金を届けたい！

クラファンで届ける支援の輪
生産設備や農具を寄贈
コーヒーの品質向上と
農家の生活基盤の安定を目指す



見えない障害に見えるやさしさを Narielle（ナリエル）

心に寄り添う布が、未来を拓く
オストメイトの方向け商品開発
みんなの夢アワード2025
ファイナリスト 夢・福祉賞



探究加速化システムの構築

SUPER STUDENTS PROJECT (SSP)



～「時間的コスト」を解消し、検証回数を最大化する～

●【連携】認定NPO法人インデペンデンツクラブ

寄付者の募集スキームの確立

学校による仲介・支払い代行

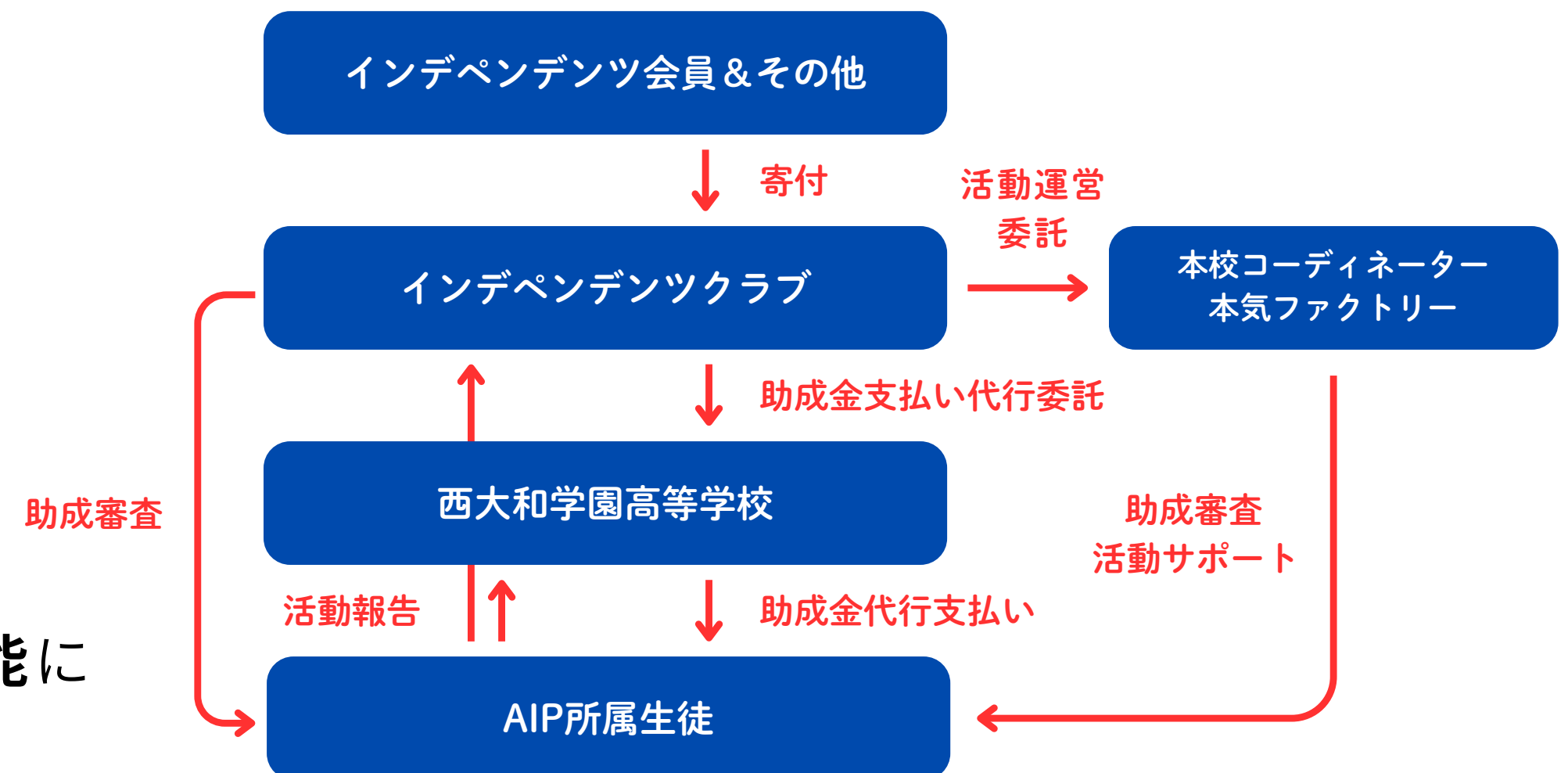
→**透明性と信頼性**の両立

●従来のCFや協賛金集めの膨大な時間を

本来の「検証」へと転換

●採択後、即座に検証費用を生徒へ

仮説・実行・検証の高速サイクルが可能に



※他にマネジメントツール、フィードバックシステム、非認知能力測定も完備

「海外」×「アントレ」仮説検証型ツアーの展開



世界の最前線に飛び込み、生徒の価値観を180度転換する原体験を

【2025】ルワンダ：リープフロッグの最前線で挑む解決策



テーマ：悲劇からの復興と、ICTによる社会課題解決の同時達成

核心：現地メンター伴走のもと、「食と医療」の課題に対しデジタル技術を駆使した解決策を提案

視察・実践：ドローンによる医療配送現場、最先端ICT拠点でのフィールドワーク

【2026】フィンランド & エストニア：DXと幸福の共生モデル



テーマ：世界一の教育・電子政府と、持続可能なウェルビーイング

核心：タリン工科大学等でのスタートアップ支援視察を通じ、「デジタル革新×豊かな生き方」を構想

視察・実践：自動運転技術（Auve Tech）、森林文化とデジタル社会が高度に融合した未来社会のデザイン

過去の開催地：2024 ネパール、2023 ケニア、2022 バングラデシュ

学園全体への波及

「点」の活動を「線」へ繋ぎ、全校生徒1,700名のマインドを刷新

【刺激の火種】AIセミナー：トップランナー講義

～「教科書」ではなく、第一線を走る大人の「生き様」に触れる～

目的：未知の領域への知的好奇心を刺激し、既存の価値観を打破する「強烈な原体験」の提供

仕組み：講演後の少人数座談会による直接対話、ホームルームでの内省を通じた「自分ごと化」

過去の講演者：植松努氏（植松電機）、高島峻輔氏（芦屋市長）等



【共創の舞台】AcademiQ Summit

～1,700名が知を共有し、学校のアイデンティティを再定義する～

垂直統合：中1から高2までが一堂に会し、先輩の背中を後輩が追う「挑戦の継承」

プログラムの融合：AIP（起業）×SSH（科学）など、文理の枠を超えた高付加価値な学びの集約

社会への発信：約3,000名が来場する開かれた知的空間（大和大学での開催）



外部連携 ～年間40名以上の講師が携わる支援体制の構築～

学校を多様なロールモデルが常駐する「知的空間」へ

■ 「教育的観点」の厳選

選定基準：高校生の視点に立ち、物事を分解して伝えられるか

学校の方針を理解し、**生徒の「アクション」**に火をつけられるか

より深く伴走するサポート体制を整備するため「**年間講師**」を選定

■ 「外注」から「共創（パートナーシップ）」へ

越境学習：起業家が**教育的視点**を、教員が**起業家マインド**を互いに学び合う

組織的蓄積：外部の専門性と教員の指導ノウハウを融合し、**持続可能な探究基盤**を確立

企業間のシナジー：講師（企業）同士が新たな連携を生み出す「**出会いの場**」としても機能

2026年度の展望

日本の教育を刷新する「探究エコシステム」の構築へ

【資】SSPを段階的資金提供モデルに拡張

Stage 01（検証）：5～10万円（助成金） アイデアの市場調査・プロトタイプ

Stage 02（構築）：20～30万円（助成金） テストマーケティング・機能拡張

Stage 03（実装）：50万円～（出資） 法人設立、本格ローンチ

【継】AIPアルムナイ：知の循環モデルの確立

ロールモデルの提示：年齢の近い先輩の「生き様」に触れることで、「志」を次世代へ継承する

アルムナイメンター&TA制度：東大や京大等のAIP卒業生を公式メンターもしくはTAとして招聘

【守】「教育」と「実社会」のギャップを埋める多層的サポート

リスクマネジメント：売上発生や各種契約、法人化等に伴う法的・財務的リスクを最小化する

士業ネットワーク：弁護士・会計士・税理士等と連携、契約・法務を学ぶ「生きた経済教育」を実施

Anything is Possible

自分自身の思考と行動で
何事も不可能でないことの証明を